

令和5年度第3回小平市社会教育委員の会議要録

と き：令和5年8月17日（木）午前9時～午前9時50分

ところ：市役所5階 504会議室

1 出席者

小平市社会教育委員 9人（1人欠席）
傍聴者 1人

2 内 容

<議題>

資料に基づき、事務局から説明を行った。

- (1) 令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1回理事会について（報告）
- (2) 第54回関東甲信越静社会教育研究大会 栃木大会（令和5年度栃木県社会教育委員協議会研修会）について

<事務局報告>

各課・各館より、実施事業等について報告した。

【地域学習支援課】

- (1) 令和5年度姉妹都市小平町との青少年交歓交流事業について（報告）

【公民館】

- (1) 公民館主催イベント（8月）について

【図書館】

- (1) 図書館ボランティア体験について
- (2) 絵本の読み聞かせ実践講座について
- (3) 大人のためのおはなし会について
- (4) 小平市立図書館講演会「読み聞かせデビューは何歳から？～絵本の読み聞かせが幼児にもたらすもの」について

3 議題及び事務局報告についての意見・質疑応答

○委員 資料No.7の大人のためのおはなし会、すごく魅力的でいいなと思った。ぜひ、これからも続けてほしい。また、来た方の感想や要望などを聞いて、情報収集をお願いしたい。

資料No.6の絵本の読み聞かせについて、時間を木曜日の午前中にしたのは何か事情があるのか。小学校の図書館のボランティアをやっていて、今、図書ボランティアも働いている保護者が多く、大体午前9時前に終わるとみんな仕事に行く方が多い。一度ぐらい土曜日などに開催できないか。

時間の設定や今までの傾向などがあれば教えてほしい。

○事務局 大人のためのおはなし会は、コロナ禍前から行っている事業で、好評な反応をいただいている。行事の開催日時に関しては、講師の日程や会場の都合等で今回この設定になっているが、土日が参加しやすい方もいると思う。今後の事業の計画の際に参考にする。

○委員 読み聞かせにすごく興味があり、子どもたちの語彙力、興味、好奇心をあおることだし、想像力もすごく刺激されると思う。また、親と子どものコミュニケーションにもなり、大事な事業である。様々な形で読み聞かせを行っているが、スタッフなど人的リソース、大変だと思っている。その中で、多様性になっている中で優先順位があったり、網羅的に全部やらなければならないとか様々な観点があると思うが、小平市の方針や図書館事業の方針を聞かせてほしい。

○事務局 図書館の事業の方針としては、全般としては、子ども読書活動推進計画を立てており、それにのっとって、読み聞かせなどの事業を推進している。

その上で、具体的には、その年度の中でいろいろプランをしていくが、会場の制約、講師の日程等々もあり、なかなかやりたい時期にやれないが、なるべく参加者が参加しやすいという観点も取り入れながら、今後も行っていきたい。

○委員 公民館や図書館の事業が対面でできるようになったこと、本当にうれしく思う。

資料No.5の図書館ボランティア体験の対象で、高校生に相当する年齢の方というのは、どういった意図でこう書いてあるのか。中学生の職場体験が今までできていなかったが、今年から職場体験ができるようになったので、キャリア教育の一環でこういうボランティア体験をどんどん実施していただきたい。

資料No.8の読み聞かせデビューの講演会の対象で、絵本でつながるボランティアが、先ほどの説明で、ブックスタートのメンバーの方と分かったが、ホームページやポスターなどにもこの絵本でつながるボランティアという書き方をしているのか。分かりづらいのではないかな。

○事務局 中高生とだけ書くと、高校に行っていない方や、ほかの学校に行っている方などが拾えないことになり、今回幅を広げる意味でこういう書き方をした。絵本でつながるボランティアの表記について、今後の広報のときには気をつけていきたい。

○委員 コンビニや公民館が猛暑の避難場所という考え方がここ数年あって、特に今年は猛暑ですごく実感したが、例えば図書館だったら、新聞や雑誌をのんびり読みに行って避暑という方もよく見受けるが、公民館の場合にアナウンスとか、実際に本当にそういう目的で利用している方がいるのか。公民館の利用者であっても、何かそれだけのために飛び込むのは敷居が高い感じもするが、状況や、実際に利用している方の感想などあれば。また、事業企画委員会などでも、その辺のアピールの仕方なども検討する機会があってもいいのではないかな。

○事務局 猛暑時の一時的な避難場所として、市全体で公共施設でお休みくださいという案内を市報等で行っている。避難場所という形で指定された施設には、水や体を冷やす瞬間冷却パックといったものも配布されて、体調不良の方にはすぐ対応できるように準備はしている。

状況については、お休みになっていますか、と問い合わせができないので、感想などお伺いできないが、実際、ロビーや廊下の椅子に座って休んでいる方は多数いらっしゃる。

○委員 公民館のWi-Fiについて、地区館にはWi-Fiの設備がない中で、今年度、簡易的な設備で試行的にWi-Fiが使える環境を整えていくと伺った。今年度後半、また来年度に向けてWi-Fiの環境は、事業を企画するに当たって、とても有効な手段であると思っている。公民館では対面でやるのが前提の施設であって、地域課題を解決していくということが大前提ではあるが、コロナ禍で遠方にいる先生の話の聞けることを学んでしまった者としては、やはり遠いから聞けないということではなくて、遠くでも聞けるという環境があるのはとてもありがたいと思っている。これはいろいろな状況が整った中での整備になっていくと思うが、今後どういうふうになるのか。

○事務局 今現在、中央公民館と仲町公民館、なかまちテラスにはフリーWi-Fiが完備されている。今年度、令和5年度に、公民館分館全館にモバイルWi-Fiとオンライン、これはZoomになるが、これを活用できるパソコンを導入した。契約上の問題で、機材が整うのが7月になり、モバイルWi-Fiは8月から、部屋を利用される団体に貸出しできるように準備が整ったところである。このモバイルWi-Fiの利用状況等を検証し、今後どのようにフリーWi-Fiを整備していくのか検討したいと考えている。

○委員 講師の話を通隔でも聞けないことがあると思うが、これは講師の問題である。いくら設備を整えても、講師が嫌だといったら、それは仕方ない。私の大学で行う学内の研修もみんなそうで、オンデマンド、学内だけでアクセスするならいい、そういう契約でやっている。

公民館主催イベントは、入場制限、コロナ対策のようなものをするのか。

○事務局 今回の友・遊こどもまつりは、特に制限を設けない形で実施することとした。その代わりに、アルコール消毒の設置、換気、これについては十分配慮をして開催しようと考えている。

○委員 先ほど、猛暑の避難場所の話があったが、市内の地域センター全館で今もやっているの、ぜひ、紹介してほしい。

公民館の友・遊について、いろいろなイベントをやって、とても盛りだくさんで、本当に子どもたちは幸せだなと思う。広報の仕方がリーフレットや市報ぐらいではないかを感じるが、もうちょっと広い広報の仕方を考えたらいいと思った。

小平町との交歓交流事業について、初めは50人ぐらいの参加があったが、私がかかわっていたときでも20人ぐらいいたが、せっかくやる事業なのでもうちょっと多くの方が参加できたらいいと思った。

○事務局 学校等への案内等はしている。今後、未就学の方などもあると思うので、検討したいと思う。

○事務局 小平町の人、昔は50人ぐらいが行き来していたが、やはり先方の小平町の児童・生徒の人数が少ないこともあり、引率の大変さなどもあり、20人程度ということがある。参加するのに、かなり高額な費用を負担いただくので、そういった面でも20人程度ということで進めていきたいと考えている。

○委員 大人のためのおはなし会、読書活動の推進ということで、とても熱心に取り組んでいると思う。それと同時に、大人も読書が大好きな小平であってほしいと思う。昔、仲町図書館で、

旅の絵本を題材に、参加している方と一緒に見ながら外国のまちの様子などを話したり、という講座もあった。やはり図書館が身近であるということ、それまで縁遠かった方も行ってみようということで、図書館で読書をする大人が増えるといい。そういう小平になると、みんな読書大好き小平市みたいな、そういう小平市になるといいと思っている。大人のためのおはなし会と同時に、地区図書館でもそういう取組があるといいと思う。

○事務局 図書館も大人向けのおはなし会や、講演会の開催を今後も検討していきたいと思う。過去に大人向けに外国の絵本を、実際に現場の写真を撮った先生の講演会を定期的に行っていた。そういった大人の方も楽しめる企画も考えていきたい。

○委員 資料No.4の公民館の友・遊こどもまつりの中の体験プログラムの「ドイツゲームで遊ぼう」は、私たちが10年以上やっているもので、ふだんは月1回、土曜日の午後に行っている。4年ぶりで、今までは9月の第一土曜日開催だったが、今回初めて夏休みに開催するので、どれくらい来るのだろうか、来ていただくとすごい盛り上がる。ぜひ、時間のある方は子どもたちと遊んでいただきたいと思う。